

2014年度 早稲田大学 文学部

日本史 解答例

I 旧石器時代から弥生時代 <やや易>

問1 更新〔洪積〕 問2 オ 問3 三内丸山 問4 イ 問5 オ 問6 イ

問2 選択肢オの「局部磨製石斧」の判別が難しかっただろうが、実は2003年の同じ文学部で選択問題として出題されていた用語だった。10年前の過去問まで手を出していた受験生は大喜びだっただろう。

II 古代の交通と軍制 <易>

問1 イ 問2 仕丁 問3 衛士 問4 ウ

問5 防人 問6 オ 問7 ア 問8 俘囚

「城柵」や「柵戸」や「俘囚」といった用語は、夏期講習などでおこなうテーマ史学習で習得してほしい。「東北の歴史」は定番テーマ史。けっして難問ではない。

III 中世の地震と政変 <やや易>

問1 オ 問2 慈円 問3 ウ 問4 建長寺

問5 ア 問6 北条貞時 問7 ウ 問8 大湊

問3 文学部ならでの出題だった。『明月記』の冒頭に「紅旗征戎、非吾事」（こうきせいじゅうわがことにあらず）という文があって、その世界では有名な。受験日本史としては難問なので、不正解でも気にする必要はない。逆に問5は推測で正解したい。

IV 江戸時代の外交 <やや易>

問1 国性爺〔国姓爺〕 問2 ウ 問3 西川如見 問4 イ

問5 イ 問6 ア・ウ 問7 ウ・エ 問8 通航一覧

問1 は設問文の「近松門左衛門の時代物」をイコール『国性爺合戦』にとらえ、「鄭成功」では不正解の可能性が高いと判断した。作問サイドは別解の存在を好まないだろうということも想像しよう。問8 は難問。覚える必要もない。

V 近現代の経済 <易>

問1 イ 問2 企業勃興 問3 オ 問4 ウ 問5 ア・エ 問6 エ

問7 ウ 問8 所得倍増 問9 技術革新 問10 設備投資 問11 企業集団

問1 大隈財政から松方財政に変わるところは、大雑把な理解で解ける問題と、デリケートな知識が必要とされる問題がある。こうした正誤問題ではそこをよく見きわめて解かなければならない。細かい知識は、冬期講習などでおこなう「近現代経済史」で習得してほしい。

VI 室町時代の禅宗文化 <易>

問1 イ 問2 オ 問3 公案 問4 ア 問5 唐物 問6 ア

問4 はめつたに問われない人物だが、消去法で解くことができた。

講評

文学部の日本史は「他学部の問題にくらべて易しい」という声があるが、見くびれないのではないかと思われる。正誤問題は慎重に解かないと足元をすくわれるし、思わぬ用語の記述問題もちらほらある。いっぽう定番の文化史図版問題は、日頃から図説(資料集)を見ながら文化史対策をしていけば困ることはない。